



# 藍染に見る絵と文様

筒描の輝き

つつがき

秋季特別展示

開館15周年記念



平成21年10月31日(土)~12月23日(祝)

■主催 姫路市書写の里・美術工芸館 ■後援 NHK神戸放送局

- 入館料 一般300円、大学・高校生200円、中・小学生50円 ※11/14(土)15日(日)は入館無料
- 開館時間 午前10時~午後5時(入館は4時半まで)
- 休館日 毎月曜日(11/23は開館)、11/4、11/24



姫路市書写の里  
美術工芸館  
SHOSHA ART & CRAFT MUSEUM



# 染色アート・筒描の魅力にせまる

## 日本を代表する

つつがき

筒描とは、筒に入れた糊を用いて布に絵や文様を描き、染め分けて仕上げていくものです。筒糊で描かれた部分は、染まらずに白く残り、筒描特有のデザインが浮かび上がります。江戸時代後期から明治期ごろを中心に全国へ広がりを見せた庶民の染物で、布団地や夜着、風呂敷、幕などに用いられました。布地の多くは木綿で、藍染を主体とした紺地に染められることがほとんどでした。これは、木綿と藍が江戸後期以降、広く庶民層まで普及したことに由来します。布地に描かれる図柄は、松竹梅や鶴亀、鳳凰などの吉祥文様を中心に、藍染の紺地を生かした大胆かつ優れた構図で、親しみやすく、当時の人々の願いが色濃く映し出されたものとなっています。この展覧会では、個人コレクションから約六十点の筒描作品を紹介し、筒描によって染め上げられた絵や文様の魅力に迫ります。



会期中のイベント

- 講演会**  
**「藍染の絵にこめられた愛と祈り-愛は藍より出でて世界をつつむ」**  
 日時●11月8日(日)午後1時30分より 講師●遠谷茂氏(「絵画としての筒描」の著者)  
 会場●書写の里・美術工芸館会議室 定員●40名 受講無料(要入館料)  
 応募方法●10月30日(金)までに往復はがき又は応募専用サイトで当館まで申込み、応募多数の場合は抽選
- 体験教室**  
**「筒描に挑戦!エコバッグを染めてみよう」**  
 日時●11月29日(日)午前10時30分~午後3時 講師●澤田善弘氏(棉屋店主)  
 会場●書写の里・美術工芸館会議室、竹材工房 定員●20名 参加費●1,000円  
 応募方法●11月20日(金)までに往復はがき又は応募専用サイトで当館まで申込み、応募多数の場合は抽選
- 作品解説会**  
 日時●12月13日(日)午後1時30分より 講師●当館学芸員  
 会場●書写の里・美術工芸館展示室 参加自由(要入館料)



展覧会情報

姫路文学館 みんなの紙芝居 10月9日(金)~11月23日(祝)  
 姫路市立美術館 ベルギー美術の変貌 10月31日(土)~12月13日(日)

〒671-2201 姫路市書写1223番地 Tel.079-267-0301 Fax.079-267-0304  
<http://www.city.himeji.lg.jp/kougei/>

開館時間●午前10時から午後5時(入館は午後4時30分まで)休館日●月曜日(祝日を除く)、  
 祝日の翌日(土・日・祝日を除く)、年末年始(12月25日から1月5日まで)入館料●一般:300円、  
 大学・高校生:200円、中学・小学生:50円(20人以上の団体は2割引)交通のご案内●JR・  
 山陽電気鉄道駅より徒歩バス書写ロープウェイ行で約25分、終点下車徒歩約3分、姫路バ  
 イパス・中地ランプより約15分、山陽自動車道・姫路西インターより約10分、無料駐車場(40台)

